

龍雲支部だより

第 22 号

2025 年 11 月

医療生協

龍雲支部

電話 888-7172

第 10 回仏生山カフェの案内

毎回参加者に大好評の仏生山カフェです。被爆 80 周年を記念し、香川県在住の被爆者 長尾 昭雄氏（香川医療生協・三木 氷上支部）の貴重な被爆体験のお話です。ふるってご参加ください。

日 時：令和 7 年 11 月 19 日（水）10：00～11：30

場 所：ふらっと仏生山 2 階 研修室

**内 容：カフェ（飲み物、ケーキ）、被爆者のお話、
ハーモニカの演奏と合唱**

費 用：無料 （ただし、お帰りの際、医療生協の出資金の協力をお願いします）

定 員：40 名 準備があり、事前の申し込みが必要です

**申込先 888-7172 南ブロック組合員センター
携帯 090-9772-8264 （高安）**

長尾 昭雄氏の紹介



現在 96 歳 今から 80 年前、昭和 20 年 8 月 6 日朝 8 時 15 分広島県立広島工業学校校舎の中で被爆。爆心地から 1.8 ㎞、16 歳でした。一緒にいた 70 人中助かったのはわずか 4 名。窓ガラスの破片が胸に刺さり、出血多量で倒れていた時、同じ科の先輩に助けられ広島空港の屋外広場で 3 日 3 晩寝て過ごす。その後呉海軍病院に入院し、郷里の香川に帰ることが出来た。被爆して 2 年間ほどは頭痛、貧血、めまい等の体調不良に陥る。原爆の被害は生物環境全体に及び、かろうじて生き残った被爆者の生活手段をもすべて破壊した。